六甲大学
ROKKO-SAN DAIGAKU

六甲山にまつわる自然、環境、文学、食などの多彩な催しを大学のカリキュラムに見立てて情報発信する「六甲山大学」。山の旬の情報を通して、六甲山の魅力に迫ります。　（次回は９月16日に掲載します）

グリーニア

「冷やしアスレチック」楽しもう

六甲山アスレチックパーク　グリーニアは、夏限定「超涼祭」を９月１日まで催している。「冷やしアスレチックはじめました」をキャッチコピーに、超強力な電動水鉄砲を使った遊びなどを体験できる。

水鉄砲バトル＝**写真**＝では、参加者同士が対戦。頭の上に金魚すくい用のポイを付け、互いに相手のポイを狙って発射し合う。１位になった参加者には景品も用意されている。

また、来場者に冷気を感じてもらおうと、人気エリア「水上アスレチック」に人工雪を投入するほか、土曜・日曜には夕涼みイベントを企画している。

さらに体験型フォトスポットを北極風にリニューアル。冷感あふれる１枚を撮影できる。巨大かき氷形のおみこしも登場し、おみこしを担いで迫力ある動画や写真の撮影を楽しめる。

六甲山牧場

ヒツジたちが疾走！

六甲山牧場は夏休み期間、多彩なイベントを企画している。中でも１番人気がヒツジが競い合う「シープレース」。全６頭が疾走する＝**写真**。

９月１日までの土日・祝に開催している。来場者はレースの行方を予想し、１着、２着を見事に的中させればプレゼントもある。参加無料。

また、昨年に誕生した「カウボーイエリア」に新たにゴールドラッシュパークがオープン。ウエスタンな雰囲気あふれる採掘場で、宝石探しに挑戦できる。採掘した宝石は持ち帰り可能。参加費600円。これも土日・祝に催している。

このほか走る馬上から的を狙って矢を射る流鏑馬（やぶさめ）や、クリームソーダを作るワークショップなども開催予定。詳細は六甲山牧場の公式ホームページで確認できる。

丹生山、再度山

登山者向け休憩所が登場

登山者がひと休みできるようにと、神戸市は間伐材を用いた休憩スポットを丹生山（たんじょうさん）と再度山（ふたたびさん）に１カ所ずつ整備した。

同市による「神戸登山プロジェクト」の一環。丹生山の麓にある衝原（つくはら）湖東端に整備した「TREK KOBE（トレック　コウベ）つくはらキャビン」＝**写真**＝は、休憩スペースやトイレ、シャワー室を備え、汗を洗い流せる。屋外にはベンチや人工芝のほか、サイクルラックや立水栓もあり、神出山田自転車道の休憩にも便利。この時期は８～20時（12～２月は17時）に利用できる。

また、弘法大師が修法のため登った山道「大師道（再度谷）」沿いに整備した「TREK　KOBEふたたびキャビン」は、現地の倒木をそのままの形状で休憩スペース中央の柱に再利用。自然と調和したつくりになっている。ぜひ一休みしてはいかがでしょう。

いずれも無料。

根岸真理が案内　山の四季便り

大師道で緑陰、グルメを満喫

土日祝なら片道ハイキングも

ねぎし・まり　アウトドア系のフリーライター。1961年、神戸市須磨区生まれ。六甲山を活動拠点とし、六甲山大学広報専門委員。著書に「六甲山を歩こう！」など。

連日の猛暑続きで、なかなか外出する気になれないが、樹木が植わる山の中は案外涼しい。標高が高い六甲山上が過ごしやすいことは言うまでもないが、街に近いエリアでも、涼を感じられるコースもある。例えばJR元町駅の北、再度山（ふたたびさん）の山腹にある弘法大師ゆかりの寺へ続く大師道。せせらぎの音が涼しげな沢沿いの道で、緑陰が多く、夏でも歩きやすい。今回はこのコースに皆さんをご案内したい。

大師道に広がる緑陰＝神戸市中央区神戸港地方再度山

登山の起点は諏訪山公園。すぐ南に神戸市バス７系統が止まり、本数も多く、街中の坂道を登らず済む。しかしバスを降りると、しばらくは急な坂の舗装道が続くので、なるべく早朝にスタートしたい。

大師道の魅力は、道沿いに茶屋やカフェが点在し、グルメハイクを楽しめる点だ。緑陰が心地いい道を進み、滝を過ぎるとあるのが「稲荷茶屋」❶。女将（おかみ）自慢の中華ちまき、ニンニク不使用のあっさりギョーザがおいしい。

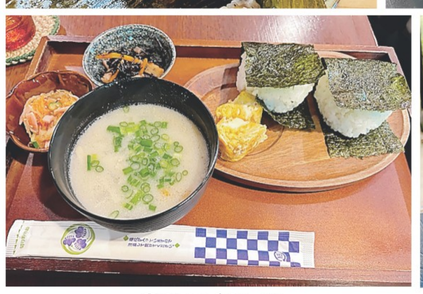
続いて大屋根付きの休憩所「TREK　KOBEふたたびキャビン」。神戸市が神戸登山プロジェクトの一環で設置した施設で、ここで一服。そしてジャズが流れるカフェ「はなれ家」❷へ。地下水でいれた香り高いコーヒーがおいしく、看板犬「くうちゃん」もいる。さらに隣のカフェ「タキビネコ」❸には、おむすびランチ。んー、どこもそそられる。

エネルギー満タンでさらに登れば、空海ゆかりの大龍寺、そして再度公園へ。約4・3キロの行程だ。水辺のカフェ「Re-encounter」❹ではクリームソーダなどのドリンクで喉を潤せる。

あとは市ケ原を経由し、新神戸駅に下るのも良し、北の神戸市立森林植物園まで足を延ばすのも良し。土日・祝日には同公園から三宮駅方面行きバスがあるので、無理せず片道だけのハイキングも楽しめる。

❶稲荷茶屋の中華ちまき

❷はなれ家のコーヒー



❸タキビネコのおむすびランチ

❹Re-encounterのクリームソーダ

環境学部

◆再度公園で森の手入れ　９月14日10時～14時半、再度公園ログハウス前集合（三宮バスターミナルより市バス25系統「再度公園前」）。樹木の伐採や下草、ササ刈りなど手入れの基本を習得、景観や森林の維持を図る＝**写真**。小学４年生以上が対象（小学生は保護者同伴）。軍手、タオル２枚、弁当、飲み物持参。長袖、長ズボン、運動靴着用。無料。申込不要（５人以上の団体及び初めての参加者は事前に連絡）。朝の天気予報で降水確率50％以上なら中止。こうべ森の学校の坂田さん☎078・371・5937

◆沖先生のぶらぶら園内ガイド　９月14日11時、14時。各回１時間程度。六甲高山植物園西入口集合（六甲ケーブル「六甲山上駅」から六甲山上バス「高山植物園」）。元神戸薬科大学薬用植物園の沖和行さん＝**写真**＝が薬学の観点から園内の植物を詳しく解説。身近な野草から高山植物まで、植物に秘められた魅力を紹介しながら散策。無料（別途入園料中学生以上900円、４歳～小学生450円）。申込不要。雨天決行。六甲高山植物園☎078・891・1247

健康学部

◆秋の兆しを探しに六甲北奥座敷を散策する　９月８日９時半、神鉄有馬温泉駅前太閤橋下集合。紅葉谷入口―炭屋道分岐―有馬ロープウエー駅前。滝川にかかる橋の手前が終点。植物や虫などを観察し、川のせせらぎや木漏れ日を楽しむ＝**写真**。講師は六甲山自然案内人の会。弁当、飲み物、雨具など持参。参加費300円。予約不要。雨天中止。前日または当日に熱中症警戒アラート発令の場合中止。開催の有無は六甲山自然案内人の会https://rokkosan.org/

総合学部

◆キノコフェスタ　９月16日10時半～15時半、神戸市立森林植物園（神鉄北鈴蘭台駅から無料送迎バス）。同園と県立御影高校が共催。キノコクイズやワークショップなどで「シルバーウィークは森林へいこう!!」（14～16日）の一環＝**写真**。宝探しやビンゴゲーム、「公園ガチャ」、森林ガイドツアー、マーチングバンド演奏なども。一部有料プログラムあり（別途入園料高校生以上300円、小・中学生150円、ただし14～16日は小・中学生無料）。小雨決行。同園☎078・591・0253

催しの日程、内容などは変更される場合があります。お出かけ前に主催者にご確認ください。ホームページhttp://653daigaku.com/

吸う人と吸わない人が共存できる社会へ

JT

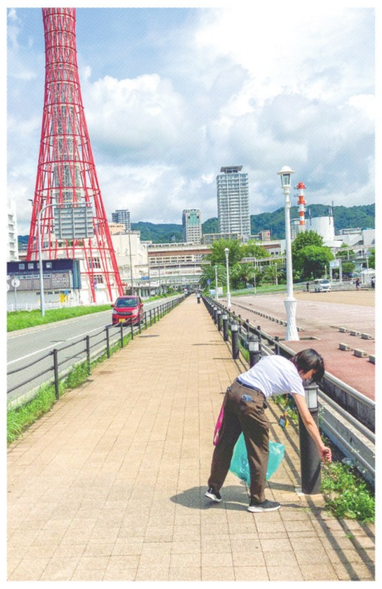
たばこを吸う人も吸わない人も、それぞれが認め合える心地よいひとときを実現したい―。そんな思いでJT兵庫支社（神戸市中央区）は、たばこ組合や協力企業・団体と共にさまざまな活動を展開しています。

例えば「ひろえば街が好きになる運動」では、「〝ひろう〟という体験を通じて、〝すてない〟気持ちを育てたい。もっともっとすてない人を増やしたい」との願いを込めて、メリケンパークや姫路城、日本海から瀬戸内海まで県内各地で清掃活動を行っています。

また、兵庫県と連携して、県内の清掃活動を可視化するウェブページ「クリーンアップひょうご」（https://hyogo.pref.pirika.org/）を2022年10月に開設。県内でごみ拾い交流サイト（SNS）を使った清掃活動は同ページに反映され、個人・団体によるごみ拾い活動が一目で確認できます。

こうした実績が評価され、兵庫県から今年度の「第33回環境にやさしい事業者賞」を受賞しました。またマナー啓発の一環として喫煙環境の整備にも取り組み、たばこを吸う人、吸わない人双方を考慮した空間づくり、双方が共存できる社会の実現を目指しています。

↑神戸たばこ組合との清掃活動



↑メリケンパークでの自主清掃活動

↑第33回兵庫県環境にやさしい事業者賞 授賞式

↑「クリーンアップひょうご」のキックオフイベント

わたしたちは 六甲大学 の活動を応援しています　JT　Daiwa House　TAKENAKA 想いをかたちに 未来へつなぐ　（順不同）

【実行委員会】六甲摩耶観光推進協議会／摩耶山観光文化協会／灘百選の会／神戸観光局／神戸新聞社　【事務局】神戸新聞地域創造内　e-mail:info-653@kobe-np.co.jp